

第2回「きのさき見て歩き」を開催しました

実施日 2022年12月9日(金) 10:00~14:30 (天気:晴れ)

講師 坂田 文一郎氏(城崎文化協会会長)

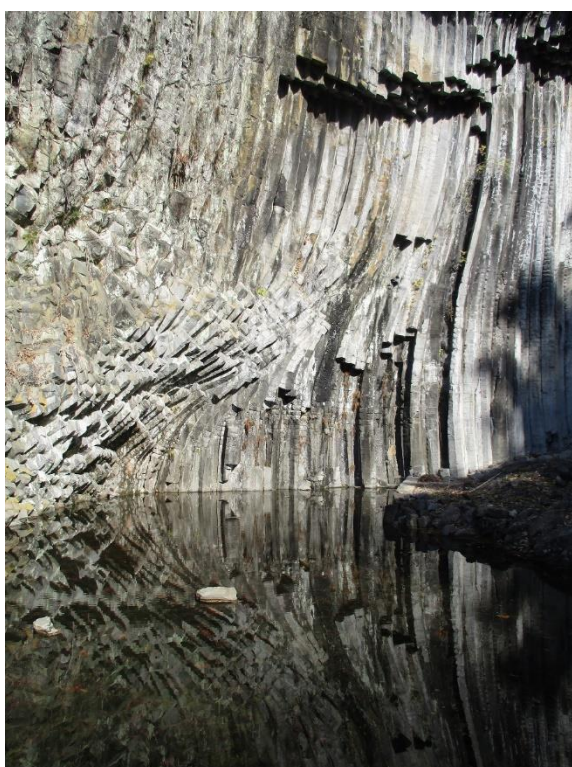
内容 「玄武洞・二見文学散歩」

【集合・出発式】



行程説明の後、坂田先生に挨拶をしていただきました。

【玄武洞公園】



この夏、再整備された玄武洞公園内の玄武、青龍、朱雀、白虎の洞を見学しました。

昔、玄武岩が建築資材に適していたことから、円山川流域中心に多くの需要があったことや、中央の洞穴は赤石と呼ばれ、石を切り出した末にできたこと、また、各洞の柱状節理や玄武岩の成り立ちや特徴などについて坂田先生から解説がありました。



【二見地区】

奈佐小橋から城崎今津までの左岸は、古墳の分布地であり、小二見地区中心に数が多い。古老が語る、円山川の井戸伝説、灘千軒の伝承などもこの周辺とされ、古墳時代から多くの人家があり、円山川の水運を管理した経済活動が存在したと推定される地区です。ここでは、かたりぐさとなっている「灘千軒と金のとり」の朗読をしました。

【青山神社】



【野分の神石碑】

青山神社は最近、上山公民館の前、宮ナルの表参道口に遷座されました。青山神社の遷座は2回確認できるようです。「野分の神」の石碑を見るために、前の宮ナル神社跡まで登り、現地でかたりぐさ「野分の神」を朗読し、配りもちの意味を考えました。

城崎庁舎へ戻り閉講式の後、14時30分頃解散しました。